

ケニアの新年度準備スタート！



ケニアでは、1月が新年度の始まりです。そして、学校に通うためには、制服を着用していなければならないという決まりがあります。しかし、メトロがスポンサー支援対象に登録している子どもたちは、非常に貧しい地域で生活していて、親は、家族に十分な食事を食べさせることさえできません。そのため、子どもたちに制服を買う余裕もありません。近所の人から学校の制服を借りたり、お下がりをもって、破れていてボロボロでも、それを着て通学している子どもはまだ恵まれています。制服がないという理由で、学校に行くことができない子どもたちもたくさんいます。デイビッドは昨年中学校に入学したのですが、お母さんは彼に制服を買ってあげることができなかったため、近所の人から制服を借りて学校に通っていました。

メトロのスタッフが、スポンサーからプレゼントされた制服を彼に渡した日、彼は大喜びしました。初めて、自分のための新しい制服を着ることができた彼は、スタッフのカメラの前で誇らしげにポーズをとってくれました。

また、カルビンは10歳ですが、両親が学校の制服を買う余裕がなかったため、学校に行くことができませんでした。スポンサーからプレゼントされた制服は、彼と家族にとって大きな助けとなり、彼は学校に通えるようになったのです。これは、彼の人生を大きく変える出来事です。初めて真新しい制服一式を受け取った彼は、すぐに制服に着替え、はにかみながら笑顔で写真に写ってくれました。

今回は、新年度の準備のためのキャンペーンを開催しています。可能な範囲で結構ですので、支援をご検討ください。

ご支援の内容などの詳細は、同封の申込用紙をご確認ください。

ネットやメール、お電話、FAX でお申し込みを受け付けています。

サイトからは、<https://metroworldchild.jp/ke-bac/>

QRコードでのお申込はこちら⇒

締切りは11月27日(木)です



常時スポンサー募集中！

お申込はこちらから⇒

<https://metroworldchild.jp/apply-for-sponsor/>

今月の引き落とし日！

11月27日(木)です。口座をご確認ください！



今月号の目次

P2…子どもの状況／メトロの給食プログラムについて

P3…ケニアの現状／OHH のご支援のお願い

P4…日本事務所から大切なお知らせ



お腹を切り取れたらいいのに…

そんな叫びを、子どもにもさせてはいけません。
どの子どももそんな空腹を感じるべきではないのです。

ケニアの幼い男の子が、あまりの空腹の苦しさのために「おなかを切り取りたい」と言っているのを想像してみてください。その男の子は、メトロの給食プログラムを受けるために、スポンサーを必要としています。

食べられるものがあると分かっているお葬式に忍び込むために学校をサボっている3人の男の子たちも、スポンサーを必要としています。

幸いにも、9歳のサマラちゃんにはスポンサーがいますが、最近栄養失調で亡くなった7歳の弟のことを思っ
て悲しんでいます。弟にはスポンサーがいませんでした。

ケニア、フィリピンをはじめ、多くの国の数えきれない子どもたちにとって、空腹による絶え間ない苦しみは毎日の厳しい現実です。極度の貧困や干ばつなどの様々な災害により、彼らの親たちは、家族のために十分な食料を手に入れることができません。

だからこそ、私たちメトロの給食プログラムはとても重要なのです。すべての寄付とすべてのスポンサーのご支援は、想像を絶する困難に直面している子どもの人生に多大な影響を与えます。

メトロは、イエス様の愛と希望を伝えと共に、この子どもたちの空腹を満たすことを最優先にしています。私たちのスポンサーになることや、食糧支援献金をしていただくことで、これらの国々のお腹を空かせた子どもたちが、ただ生き延びるだけでなく、健やかに成長するために必要な食事を取ることができます。



メトロの給食プログラムとは

メトロ・ワールド・チャイルドが貧しい国々で提供する給食プログラムは、スポンサーが付いた子どもが学校給食を食べられるようにするものです。

日本事務所が支援している国の中で、ケニアは、学校給食のシステムがありますが、給食は有料です。そのため、給食費を払うことができない家庭の子どもは、昼食を食べることができません。

毎日の食料にも事欠く生活の中で、給食を食べられるかどうかは大変大きなことです。給食だけが唯一の食事だという子どもたちもたくさんいます。ですから、給食を食べられるということは、親にとっても子どもにとっても毎日学校に行く動機になります。学校に通うことは、彼らの将来に大きな影響を与えます。日雇いの下働きや、採石場での石碎きなどの不安定で奴隷のような仕事をしている両親とは違う、普通の仕事に就いて、スラムから抜け出せるという希望が与えられます。

また、空腹のためにそれ以外のことが考えられず、学びに集中することもできない子どもたちも、毎日食事ができるようになると、健康状態もよくなり、確実に成績も上がります。

子どものチャイルドスポンサーになっていただくことで、学校給食を食べることができるようになるということは、子どもたちの人生が変わることを意味します。

*プライバシー保護のため、記事と写真に直接の関係はありません。

食事をもらうまでは動かない

あなたは、絶望的な状況にある子どもたちに希望を与えてくださっています。

スポンサーになることは、未来への希望を与えることになります！

イマニは、メトロがスポンサー登録を始めた日、学校を休んでいました。

学校に来てみると、給食を食べている子どもがいるのを見て、毎日、自分の器を持ってくるようになりました。誰かが食事をくれるまで、授業が始まる時間になっても給食室から離れようとしませんでした。今ではイマニは正式にスポンサーが付いて、勉強に集中できるようになりました。

イマニの担任の先生も、栄養のある食事が彼女の人生に大きな変化をもたらしたことに気づいています。先生はこう話します。「イマニがメトロの給食プログラムに参加できるようになってから、一度も学校を休んでいませんし、健康状態もよくなりました。」そして、成績も上がったのです！人生で成功するために少しの助けを必要としているイマニのような子どもたちを気にかけてくださり、ありがとうございます。



どうか私たちとともに、これらの子どもたちの命が守られるように、そして、切実に支援を必要としている子どもたちと繋がりを築いてくださるチャイルドスポンサーがもっと起こされるようにお祈りください。

また、子どもたちが未来という最も大切なことに集中できるよう、空腹の子どもたちに食事を届けるために、食糧支援の献金もよろしくお願いいたします。



メトロ紹介&申込サイト⇒

<https://metroworldchild.jp/metrogenerallp/>



オペレーション・ホリデー・ホープ OHH

11/25
×切

今年は、OHHの30周年です。皆様のご支援をよろしくお願いいたします。
目標は、世界中で170万人の子どもたちにプレゼントを手渡すことです！



日本事務所からの重要なお知らせとお願い

注意!

偽サイトにご注意を!

ビル師の偽のSNSがたくさん発生しています。騙されて献金を送金されないように、くれぐれもご注意ください。

ビル先生の Facebook は以下の一つだけです。

<https://www.facebook.com/PastorBillWilson>

ビル先生が、直接献金を依頼することはありません。メッセージやその他の方法で、個人的に連絡することや友達申請することもあります。友達リクエストを受け取った場合は、その偽アカウントを Facebook に報告し、ブロックしてください。

メトロの働きやビル先生へのご支援は、必ず日本事務所を通してお送りください。

現在開催中のキャンペーン!

現在行っているキャンペーンは、以下の通りです。同封のお申込用紙をご覧ください。

10月:アメリカのクリスマスプレゼントと各国の OHH
11月25日〆切

11月:ケニアの就学支援 11月27日〆切

また、ご支援いただいています子どもの誕生日の前月には、お知らせの手紙を同封しますので、必ず開封して中をご確認ください。ご自身の状況に合わせてプレゼントをお考えいただければ幸いです。

口座引落手続きをされている方は、翌月のお引き落としに加算することもできますので、お振込みの必要もありません。

お引落日は、お申し込み日の翌月です。



! スポンサー募集中!

メトロの働きは各国で急激に拡大し、サポートの必要な子どもの数は、飛躍的に増えています。新規スポンサーを常時募集していますので、よろしく願いいたします。

大規模な災害や戦争で、貧困地域の状況は悪化し続けており、世界中の物価は急激に上昇しています。メトロの活動している地域では、以前から食事をまともに食べることができない子どもがたくさんいましたが、今はさらに深刻な状況です。私たちは、一人でも多くの子どもにスポンサーを見つけようと手を尽くしています。どうぞ、身近な方々にメトロをご紹介ください。

メトロ紹介&申込サイト⇒

<https://metroworldchild.jp/metrogenerallp/>



日本事務所よりごあいさつ!

朝晩の冷え込みに冬の到来を感じる日もあって、クリスマスシーズンを意識する時期となりました。元気で過ごしましょうか。

このレポートが発送される頃は、私はマレーシアで、神学校の授業と教会でのメッセージを担当しています。アジア各国からの神学生と共に御言葉によって信仰燃やされる時間を持てる恵みに感謝しています。キリスト教が弾圧されている地域やイスラム教国、社会主義国からの生徒たちもいて、私自身も刺激を受けながら授業をしています。

メトロの働きは、毎週、世界中で数多くの子どもたちに、確実に主の福音を伝える尊い働きで、子どもたちの数が200万人になろうとしており、ご支援くださる皆様と主に心から感謝しています。

皆さまのご健康が守られ、主の恵みの溢れる毎日でありますようにお祈りします。

日本事務所代表 万代栄嗣(まんだい えいじ)



メトロ・ワールド・チャイルド日本事務所

所在地 〒104-0061

東京都中央区銀座5-14-6

橋ビルⅡ7階 TFC内

電話 03-6264-7370 (松山事務所 089-992-9020)

FAX 089-925-1501

メール metrojapan@mission.or.jp

URL <https://metroworldchild.jp/>



すべてのお振り込みは、下記宛にお願いいたします。

ゆうちょ銀行：一六九店 当座預金 0041610

郵便局：記号番号 01650-3-41610

口座名義はどちらも同じ

メトロ・ワールド・チャイルド・ジャパン